

お母さんと
赤ちゃんのため
妊産婦医療費
助成制度創設を

荻田氏 「妊産婦の医療費は 公費負担が大前提」

昨年「妊婦加算」等が異例の凍結となりました。妊産婦の診察は本来特別な対応と配慮が必要で、医師への適切な評価は患者を守ることに繋がります。「妊婦加算」の復活を要求するとともに、妊産婦への医療費負担軽減を求めるため、大阪府保険医協会は現在「妊産婦医療費助成制度の創設」に向け、署名に取り組んでいます。妊産婦医療費助成制度の創設について周産期医療の最前線に奮闘されている、りんくう総合医療センターの泉州広域母子医療センター長・産婦人科部長の荻田和秀氏にお話を伺いました。

【取材日・8月23日】



りんくう総合医療センター
泉州広域母子医療センター長
産婦人科部長

荻田 和秀 氏

「妊産婦を日頃から診られていて、先生が感じられていることをお話しへ

ださい。

荻田 まず、妊娠は生理現象であって病気ではない

ということが大前提で話します。りんくう総合医療センターで受け入れている妊婦さんは6割以上が持病を持たれている方です。そうした患者さんを診ている中で感じることは、持病でかかっている専門科の先生との連携が非常に重要になっていくということ

です。

しかし、患者さんからは「妊婦だと分かる」と受け入れてくれない診療所がある」などと聞く事もありま

す。また、救急で運ばれてきた妊婦さんの中にも、他の医療機関にかかったが妊婦だということが医師の念頭になかったので異常を発見できず、結果的に妊娠に関連する症状が重症化した

ケースがあります。

現状ではまだまだ産婦人科以外の医療機関で「妊産婦さんを診る」ということが浸透していないのかなと感じています。妊産婦さんを医療者全体で診ることがいかに大事か改めて考えたい機会になればと思います。

「妊婦加算」は患者への理解を 広めることが大事

「妊婦加算」が凍結されたことをどう受け止められましたか。

2019年1月1日に「妊婦加算」が凍結されたことをどう受け止められましたか。

荻田 「妊婦加算」の思

SNSで「妊婦税」だと批判が出た意味も患者さん側

判が出た意味も患者さん側
に立って考えると理解でき
ます。もちろん、患者さん
へきちんと説明すれば皆さ
んが納得いただけました。
「妊婦加算」の創設にあた
り、この患者負担の跳ね返
りが十分に想定できていな
かったのだと思います。
風邪やアレルギー・性鼻炎
など軽症の疾患は地域のか
かりつけの先生に診ていた
だいて、その対価として診
療報酬で保障するべきで
す。

(2面) (つづ)

「妊産婦医療費助成の対象は 妊娠前から産後1年が理想」



少子化対策のためにも妊産婦の医療費助成は必要と語る荻田和秀氏

「妊産婦医療費助成制度の創設について先生のお考えをお聞かせください。」

荻田 私個人思うところは、はたぐさんあります。まず、一般財源で妊産婦医療費助成の予算組みをして、

妊産婦さんの医療費負担を減らすことが大前提だと考えています。

そして、妊産婦さんへの医療費助成の範囲として具体的に予防医学や風疹、インフルエンザワクチンな

どの予防接種を含むお産以外にかかる医療費の包括的な負担軽減策が必要ではないかと感じています。また、償還払いは手続きが面倒です。現物給付等で妊産婦さんに負担とならない助成制度がいいと思います。

日本は超高齢社会となると言われている今こそ、妊産婦さんの公的補助を厚くして子どもが育っている環境づくりをするべきです。妊産婦医療費助成が創設されるのであれば、妊娠

前から例えば不妊治療を希望される方なども対象内とし、産後は1年が理想であると考えます。

日本ではまだまだ、産後ケアが充実していません。日本産科婦人科学会でも産待の事例や子育て困難な事例などが出され、学会員の95%以上が子育て支援は必要であると述べています。産後ケアの充実をはかるためにも助成制度や産後健診を拡充すべきです。妊娠は病気ではありません

コウノドリ 鈴ノ木ユウ

荻田氏をモデルに周産期の現場を描く。生死と向き合う産科医の物語。



鈴ノ木ユウ

んが、保険診療に組み入れていかないといけない時期に入っているのではないかと思います。子育てされている人への手厚い医療サービスのために医師への支援・保障も必要です。最後に伝えたいことは

あります。

荻田 他科の先生方には妊産婦さんを診ていただきたい。普段診ている患者さんが、妊娠しているかも、もしくは、これから妊娠されるかも、ということには常に念頭に置いて診療するこ

妊娠出産 ホンマの話

荻田 和秀

妊婦だけでなくその夫にも知ってほしいと本音で語っている著書。

とが大事です。そういった意識付けの良い機会として「妊婦加算」は必要であり、それは患者さんに跳ね返るものではなく、公的補助として保障すべきです。一本日はありがとうございました。

妊娠出産ホンマの話

産科医のホンマと産科医の心

荻田和秀

「奇跡」の医療TVドラマ絶賛放映中!

